

受領 令和3年5月24日 0時00分

通告番号(1)1/2

令和3年5月24日

読谷村議会
議長 伊波 篤 殿

読谷村議会議員
上地 榮 印

一般質問通告書

第508回読谷村議会定例会において次の事項の質問をしたいので、会議規則第61条第2項の規定により通告いたします。

質 問 要 旨	答弁を求める者
<p>1 新型コロナウイルスワクチン接種の状況と今後のスケジュール等は</p> <p>(1) 接種予約件数(直近の)と電話とラインの比率は。</p> <p>(2) 直近の接種状況と今後の予定者の数と接種スケジュールは。</p> <p>(3) 接種のための医師、看護師、その他要員の執行体制(人数等)は。</p>	
<p>2 ワクチン接種以外の新型コロナウイルス対策は</p> <p>(1) 第一次補正事業(26事業)及び第二次補正事業(16事業)で現在執行中の事業状況は。</p> <p>(2) 第三次補正事業の数と事業名、国からの臨時交付金及び村の負担額はいくらか。</p> <p>(3) 村単独のコロナ対策事業もあるか。</p> <p>(4) 村内における雇用環境及び企業等の状況は。(雇い止めや企業倒産の数は)</p>	
<p>3 SDGsの推進の立場から古布等の回収事業(リサイクル事業)を早急に実施できないか</p> <p>(1) 当該事業については、昨年の9月議会において関係機関と調整し、検討していくという答弁だったが、これまでの経過と検討結果は。</p> <p>(2) 西原町では、シルバー人材センターを活用しての古布回収を行っているが、本村ではできないか。</p>	

質 問 要 旨	答弁を求める者
<p>(3) 春と秋の年2回の衣替え時期に合わせて古布回収するのも一つのアイデアと思われるが。</p>	
<p>4 時代に合った校則になっているか</p> <p>(1) 本村の小中学校における校則とは。</p> <p>(2) 校則で問題になった事例について5点あげるとすれば。</p> <p>(3) 本件については、学校経営計画の中で随時見直すことができるか。</p> <p>(4) 1994年に批准した子どもの権利条例の立場から検証したことがあるか。</p> <p>(5) 課題として何があるか</p>	
<p>5 (仮称) 読谷村総合情報センターについて</p> <p>(1) 平成24年の同センターの報告書からPFIの事業手法による建設を庁議で決定されるまでの経過を時系列で問う。</p> <p>(2) 今後の竣工までの具体的スケジュールは。</p> <p>(3) PFIによる事業のメリットとして主に、①コストの縮減、②民間の発想(知的財産)による村民サービスの向上等があると言われるが具体的には。</p> <p>(4) 同センター人員体制は27名とあるが、PFI事業においては何名が予想されるか。</p> <p>(5) SPC(特定目的会社)に地元企業の参入も予想されるか。 (地元産業の育成)</p>	